



2027年4月入学
早稲田大学人間科学部

FACT選抜

入学試験要項

この「入学試験要項」では、携帯電話・スマートフォン・スマートウォッチ・スマートグラス・ワイヤレスイヤホン等（Bluetooth、Wi-Fi、データ通信等、日時・時刻以外の情報を送信、受信、または送受信が可能な機能が搭載された機器）をすべて含めて「携帯電話等」と表記しています。

早稲田大学 所沢総合事務センター
〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15

問い合わせ先：admission19@list.waseda.jp

※半角数字の19(イ・ナウ)です

出願準備から入学までの流れ

① 入学試験要項で出願資格と入試日程を確認
出願書類、事前課題を確認し、必要な書類を作成していく



② 「事前課題」に取り組む
人間科学部の特色や学科の違いについて調べる



③ 1次入学検定料を支払う



④ 出願書類を簡易書留・速達郵便で送付する



⑤ 出願受理後、受験票を受け取る



⑥ 1次合格者発表を確認する



⑦ 2次入学検定料を支払う



⑧ 2次選考を受験する



⑨ 合格者発表を確認する



⑩ 入学手续を行う



⑪ 入学する

【個人情報の取り扱いについて】

本学では、志願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学試験実施、合格発表、入学手続およびこれに附随する業務のために利用します。その際、当該個人情報の漏洩・流出・不正利用等がないよう、必要かつ適切な管理を行います。また、上記業務の全部又は一部を委託する場合があります。その場合、委託先に対し、契約等により、必要かつ適切な管理を義務付けます。本学に提出された書類・資料・論文および提供された情報等（「本提出書類等」といいます。）につき、その真正性等について、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、本提出書類等を提供して問合せをすることがあります。出願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとします。これらの他、個人が特定されないように統計処理した個人情報を、大学における入学者選抜のための調査・研究の資料として利用します。

<目次>

FACT 選抜 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
学部紹介	
学科紹介	
1. 募集内容	3
(1) 試験日程	
(2) 募集学科・募集人員	
(3) 入学日	
(4) 出願資格	
2. 出願手続	7
(1) 出願にあたっての注意事項 重要	
(2) 受験・就学上の配慮	
(3) 入学検定料納入	
(4) 出願期間	
(5) 出願方法	
(6) 出願書類作成にあたっての注意事項	
(7) 出願書類一覧	
(8) 出願書類別の注意事項	
(9) 受験票の送付	
3. 選考	16
(1) 選考方法（1 次選考の合格者のみ 2 次選考を実施します）	
(2) 2 次選考日程	
(3) 2 次選考の注意事項	
4. 試験時間中に使用できる物品・使用を認めない物品について	18
(1) 使用できる物品	
(2) 使用を認めない物品	
5. 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項	19
6. 合格者発表	21
(1) 発表日	
(2) 発表方法	
(3) 注意事項	
7. 入学手続	22
(1) 入学諸費用の納入<銀行振込>	
(2) 入学手続情報の入力<UCARO>および入学手続書類提出<郵送>	
(3) 入学手続の注意事項	
8. 学費・諸会費	23

FACT 選抜

Fundamental Academic Competency Test

根本的・学術的 - 汎用能力選抜

FACT 選抜 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

高等学校および中等教育学校の教科科目に関する幅広い基礎学力と、理科・国語の2教科についての特に優れた基礎学力を持ち、加えて、データを客観的に読み解き要約する力、そこから得られた洞察を科学的知見と結びつけて分析する力、それらを批判的かつ論理的にまとめ、わかりやすく提示する力を高い次元で併せ持つ受験者、研究するという営みへの高い関心と尽きない意欲、新しい分野への好奇心とチャレンジ精神に富んだ受験者を求めます。

高等学校および中等教育学校における全教科の評定平均値をバランスよく評価するとともに、科学への関心と思考力、論理性、論述力、表現力を重視する観点から、理科・国語の2教科の評定平均値を特に重視します。高等学校および中等教育学校での活動状況、人間科学部への志望動機と学習への意欲、大学での学習目標と自身の将来像の具体性、およびそれらが志望する学科と適合しているかについて、提出書類および面接等で評価します。大学入学後に世界の学問的知見に触れ、また異なる文化、異なる価値観と接するために、高校生としての基礎的な外国語能力を、第三者機関が実施する語学能力試験等により評価します。論述課題では、データを客観的・批判的に読み取り要約する分析力、得られた洞察の合理性を自ら確認し、また展開する論理性や省察性、示すべき事柄を必要に応じて図や表を併用しながら他者にわかりやすく伝える表現力を評価します。分析力・思考力・判断力・論理性・省察性・表現力については、面接における対面でのやりとりを通じて総合的に評価します。

人間科学部は、諸学問の総合によって世界に貢献するというその理念を実現するために考案された先進的なカリキュラムを通じて、「リテラシー」「方法論・専門性」「学際性・多様性」「デザイン力」「協働性」「反省性・倫理観」「自己教育」の7領域17項目にわたる総合力を学生が獲得できるように最大限努力します。しかしこれらの能力の獲得は、学生自身が主体的かつ真摯に勉学に取り組むことによってのみ実現されるものでもあります。したがって人間科学部生は、その卒業時において、これらの力を必要かつ十分な水準において身につけていること、また、これらを国内外の実践の場で活用し社会に貢献すること、あるいは継続的な研究・研鑽によってその水準をさらに高めることが求められます。

FACT選抜で重視する“5つの力”「CLEAR」

現代社会の諸問題に対する“人間科学的ソリューション”を提供するために必要と考えられる“5つの力”（＝クリアにする力）について、出願書類（事前課題を含む）、論述試験、面接試験を通じて総合的に評価します。

現実世界で生じている問題の多くは、いくつもの要因が絡まりあい、また相互作用することで、一定の解決方法を定めにくい複雑さを有しています。“5つの力”によって問題に果敢にアプローチし、“クリア”しようとする働きかけのプロセスを積極的に評価します。

対話の力	Communication
論理の力	Logic
表現の力	Expression
分析の力	Analysis
省察の力	Reflection

学部紹介

早稲田大学は1882年の創立以来、今日まで「進取の精神」をもって「学問の独立」を志し、「学問の活用」をはかることを建学の教旨として、有為な人材を社会に輩出してきました。この間に科学技術は急速に発達し、人間の生活は物質的にいちじるしく向上しましたが、本来の目的であるべき人間の尊厳や幸福がなおざりにされる面も見受けられるようになってきました。また、学問の体系は個々の専門分野に細かく分化した結果、一方においてそれぞれが非常に深化し精緻化した半面、他方において隣接領域との関連性が希薄化したことが指摘されています。人間科学部は、こうした状況を超越するために「人間科学」を標榜し、人間に関わるあらゆる諸問題を総合的、学際的に教育研究できる人材を養成するという高い理想を掲げて、1987年に創設されました。

本学部は、創設当初から、現代社会がかかえる諸問題の解決、あるいは持続可能な社会の構築に向けて、総合性および学際性を重視する教育研究をめざしてきました。人間と人間をとりまく環境を全体として、また自然にあるものとして尊重し、人間社会が持続可能となる論理を追求しながら、人間生活の質の向上を図ることが人間科学の目的です。こうした人間性の尊重という理念は、将来、人間とその環境に大きな変化が生じたとしても、人間生活の根幹であることに変わりはありません。

しかしながら、とくに1990年代以降の世界や日本の社会の急速な変化は、人間科学に新たな問題をつきつけ、人間科学部の教育研究の内容にも大きな変革をもたらす契機になりました。2003年度には、人間科学部は創設以来蓄積してきた教育研究の成果を発展させ、新たに学科を再編し、時代の要請に対応した新・人間科学部のあり方をめざすことにしました。今こそ、自らの発展する形を社会に示し、社会の要請に応える時期が到来したと考えたからです。こうした企図のもとに、従来の人間科学部の基礎と応用という二元論的枠組みを乗り越えて、「環境」「健康・福祉」「情報」という21世紀の緊急の課題に取り組むために、人間環境科学科、健康福祉科学科、人間情報科学科という3つの学科を設置しました。

人間科学部の特色は、教育研究において、学科の枠組みにとらわれず、広く自由に行なうことが可能であり、総合性、学際性を追求した点にあります。そして、大学院人間科学研究科、人間総合研究センターに加えて、通信教育課程とともに、人間に関わる総合的、学際的な教育研究を志向していくことが、人間科学部の使命であると考えています。

学科紹介

【人間環境科学科】

20世紀後半の経済成長は、科学技術の発達に支えられ、資源・エネルギーを未曾有の規模で消費する先進諸国に豊かさをもたらしています。その反面、半世紀の間に75億人を超えるまでに急増した世界人口は、人間活動による環境問題を地域から地球規模へと拡大するとともに、地域・民族・国家間の格差や対立を増幅させています。このような問題の解決には、人間の日常生活の場面から、地域社会・国家・地球規模といった様々なスケールで生じている環境の問題を的確に把握し、正しい対処の方策を構想することが必要です。それを実現するためには、なによりも、従来の環境科学の枠を超えて、人間と自然環境、社会・文化的な環境との相互関係を広く理解し、その知見を環境政策にフィードバックすることが不可欠です。このような観点から教育研究を行うのが人間環境科学科であり、座学に留まらず、実験や社会調査やフィールドワークを通しての人間活動の環境影響評価、地域環境・建築環境・社会的環境における人間行動と発達の理解、持続的で内発的な地域創生や共生社会構築のあり方、格差社会や人の移動に伴う地域社会における文化的アイデンティティの維持や変化などを教育研究のテーマとしています。人間環境に関する総合的な知識と課題解決能力をもつグローバルな人材を育成します。

【健康福祉科学科】

少子高齢化が急速に進行し、超高齢社会となったわが国社会において、生涯を通じて心身ともに健康で豊かな生活を実現するための課題を明らかにし、解決方法を提案していくことは極めて重要です。健康福祉科学科では、さまざまな角度から人間の健康福祉を考え、身体的、心理的、社会的に、健やかで、安心して、豊かに暮らしていくための、科学技術、支援の方法、社会システムなどを、総合的、多角的に学び、研究しています。また、医学や健康科学、健康福祉に関する理工学、臨床心理学、社会的な支援を必要とする人たちのための相談援助、医療・福祉のシステムや産業など、幅広い知識の習得が可能で、さらに、実験や制作、ニーズや効果を測定するための調査、カウンセリングや相談援助の実技など、実践的な教育と、理論の構築能力や科学的合理的な説明能力を高めるための教育の両方が用意されています。専門性を持ちながらも、応用範囲の広い知識、能力を身につけることができ、企業、行政、専門職や研究者としても、広い視野を持って活躍する人材を育成します。

【人間情報科学科】

人間情報科学は、人が人やモノと関わる際に生まれる界面（インタフェース）を行き来するものを情報として捉え、情報が生まれるプロセスの分析から情報を作り出すシステムのデザインまでを、人とその成長を中心に置きな

から科学的に追究する学問分野です。人間情報科学科では、コミュニケーション、教育、心理、認知等の基本的な活動や、ヒューマン・インタフェース、AI（人工知能）、VR（仮想現実）/AR（拡張現実）やIoT（モノのインターネット）等の先端技術において、人間が利用する情報—人間情報—に焦点をあて、コンピューター科学に限定されることなく、情報科学、認知科学、コミュニケーション学、人間工学、教育工学の視座から学融合的に学び、研究します。現代社会における情報技術の高度化は、生活の利便性を高めただけでなく、人間の認知や学習、行動やコミュニケーションのスタイルにも著しい変化をもたらしつつあります。人間と情報の真の共生を可能にする高度な問題解決能力を備え、国際社会に貢献する人材を育成します。

1. 募集内容

(1) 試験日程

手続内容	日程	備考
受験・就学上の配慮申請 受付締切	2026年7月30日（木）まで	該当者のみ要連絡
1次検定料納入期間	2026年8月27日（木）～9月8日（火）	
出願期間	2026年9月1日（火）～9月8日（火）	郵送受付のみ 締切日消印有効
受験票発送予定日	2026年9月中旬予定	志願票記載の住所宛に送付
1次選考（書類審査） 合格者発表日	2026年9月25日（金）	
2次検定料納入期間 （予定）	2026年9月25日（金）～10月1日（木）	1次選考合格者のみ必須
2次選考（論述試験、面 接試験）試験日	2026年10月10日（土）	1次選考合格者のみ対象
最終合格者発表日	2026年11月1日（日）	
入学手続サイトご案内	2027年1月末日までにご案内<予定>	
入学手続期間	2027年3月12日（金）まで<予定>	

(2) 募集学科・募集人員

募集学科	募集人員	学科選択の注意
人間環境科学科	全体で 若干名	出願時に3学科から志望する学科を1つ選択して出願してください。 学科の併願はできません。また、出願後の学科変更は認めませんので、十分に学科の内容を確認したうえで選択してください。
健康福祉科学科		
人間情報科学科		

(3) 入学日

2027年4月1日

(4) 出願資格

出願資格A（国内者向け）と**出願資格B（帰国生向け）**のいずれかを満たす必要があります。

出願資格A（国内者向け）

以下 1～4 のすべての要件を満たしていることを必須とします。

1 つでも欠ける場合は出願を受理しません。

1. 当学部への入学を第一志望とする者。
2. 次の(a) (b) (c)いずれかの要件を満たす者。
 - (a) 2027年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者。
 - (b) 2026年3月に高等学校または中等教育学校を卒業した者。
 - (c) 文部科学省の認める在外教育施設（日本の高等学校に相当する）を2025年4月1日以降に卒業した者、および2027年3月に卒業見込みの者。^{注1}
3. 高等学校または中等教育学校後期課程の1年1学期または前期から3年（4年制定時制は4年）1学期または前期まで^{注2}の調査書の記載内容について、次の**A～Fすべての基準**を満たす者。^{注3}
 - A. 「全体の評定平均値」が3.9以上（小数点以下第2位を四捨五入）。
 - B. 「理科」の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から3科目以上履修している（ただし、「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目以上の履修を必須とする）。^{注4}
 - C. 「国語」の3科目以上を履修している。
 - D. 「理科」および「国語」で履修したすべての科目を合わせた評定平均値が4.1以上（小数点以下第2位を四捨五入）。
 - E. 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」をすべて履修している。
 - F. 高等学校または中等教育学校後期課程の1年1学期または前期から3年（4年制定時制は4年）7月末まで^{注2}の調査書記載の「欠席日数」の合計が40日以内。^{注5}
4. 次の(a) (b)いずれかの要件を満たす者。
 - (a) 当学部の指定する外国語資格・検定試験^{注6}のいずれか1つのスコア、結果を提出できる者。
 - (b) 国際バカロレア資格を取得見込者で、出願時にIB Predicted Scoreを提出できる者。^{注7}

注1：海外において主に日本人を対象に日本の教育制度を実施している文部科学大臣認定等在外教育施設（高等部を設置するもの）を指します。日本の教育制度に基づく高等学校または中等教育学校からの志願者で、在学中の留学により卒業期が繰り下がり、2025年度内の卒業となったものを含みます。

注2：2026年4月1日時点で卒業している者は、高等学校または中等教育学校後期課程卒業時における調査書を基準とします。

注3：所属している学校のカリキュラムにおいて、A～Fの基準を満たすかどうか不明な場合には、出願期間開始前に個別の出願資格審査を申請することができます。出願資格審査を申請する場合は、人間科学部入試担当（E-mail: admission19@list.waseda.jp）宛に根拠資料を添付のうえ、メールで連絡してください。なお、申請の内容によっては、追加の根拠資料の提出を求めるなど審査に時間を要することがあります。また、申請内容によっては出願を認めないことがありますので、出願資格審査を希望する場合は、事前課題に着手する前を目安に、早めに申請してください。出願資格審査の対象例は以下の通りです。

◆独自カリキュラムによる科目

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）やスーパーグローバルハイスクール（SGH）など、出願要件に定める「理科」「国語」「数学」に相当する科目を独自カリキュラムの科目により履修している場合、出願資格審査により科目の振替を申請してください。根拠資料として、教育課程表、振替対応表（独自カリキュラムの科目と振替対象科目との関係性が分かるもの）、独自カリキュラムの科目のシラバス（授業で扱う範囲や単位数等が分かるもの）の提出を必須とします。

◆2学期制

出願時点で3年前期の成績が確定しておらず、調査書記載の「理科」「国語」「数学」の科目が不足している場合、出願資格審査を申請してください。ただし、3年前期に不足科目を履修している場合に限ります。また、出願を認めた場合、3年前期の成績確定後に調査書の再提出が必要となります。

◆中高一貫教育

「理科」「国語」「数学」の内容に相当する、またはそれ以上高度な内容を中学校課程で先行して履修している場合、出願資格審査により、その科目を高等学校課程の履修科目としてみなすことができます。根拠資料として、中・高の教育課程表、先行履修した科目のシラバス（授業で扱う範囲や単位数等が分かるもの）の提出を必須とします。

◆IBプログラム

調査書記載の「理科」「国語」「数学」の科目が不足している場合、出願資格審査を申請してください。ただし、「全体の評定平均値が3.9以上の者で、『理科』および『国語』で履修したすべての科目を合わせた評定平均値が4.1以上」の要件を満たす場合に限ります。根拠資料として、教育課程表の提出を必須とします。

◆留学等

所属している学校の在籍期間内に1学年以上海外留学したことにより、調査書記載の「理科」「国語」「数学」の科目が不足する場合、出願資格審査を申請してください。ただし、「全体の評定平均値が3.9以上の者で、『理科』および『国語』で履修したすべての科目を合わせた評定平均値が4.1以上」の要件を満たす場合に限ります。根拠資料として、留学先での履修状況に関する資料の提出を必須とします。

注4：カリキュラムの都合により「物理」「化学」「生物」「地学」の科目を履修することが不可能である場合、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から3科目以上履修していることを条件に、個別の出願資格審査によって根拠資料（教育課程表）を確認したうえで、出願を認めます。出願資格審査の詳細は、注3を参照してください。

注5：受験者本人に帰責されない身体・健康上の理由により、やむを得ず40日を超える欠席日数がある場合は、出願時に提出する調査書に欠席理由が明記されていることを条件に、出願を認めます。

注6：当学部の指定する外国語資格・検定試験は以下のとおりとし、これら以外は原則認めません。また、いずれの試験においても自宅受験型（Home Edition等）は対象から除きます。本学入学日から遡って2年以内に受験したスコア、結果を有効とし、スコア等の基準は設けません（試験次ごとに受験日が異なる場合は、最終試験の受験日を基準とします）。出願期間までに提出できる試験結果の証明書類のみを有効とします。出願後の提出および差替えは認めません。複数の外国語検定試験のスコア、結果を有する場合は、いずれか1つを提出してください。

TOEIC® Listening & Reading Test	TOEFL iBT®	IELTS (Academic Module)
GTEC (Advanced/CBT)	TEAP (技能パターンは問わない)	実用英語技能検定試験 (英検)
ドイツ語技能検定試験	ゲーテ・ドイツ語検定試験	実用フランス語検定試験
DELFD/DALF (フランス国民教育省認定フランス語資格試験)	実用中国語検定試験	HSK (中国語検定)
スペイン語技能検定	DELE (スペイン語検定試験)	

注7：IBプログラムを実施している学校教育法第1条に規定されている教育施設を対象とします。

出願資格 B (帰国生向け)

以下 1～6 のすべての要件を満たしていることを必須とします。

1 つでも欠ける場合は出願を受理しません。

1. 当学部への入学を第一志望とする者。
2. 次の(a) (b)いずれかの要件を満たす者。
 - (a) 日本国籍を有する者。
 - (b) 「出入国管理及び難民認定法の別表第二」に掲げる者。
3. 次の(a) (b)いずれかの要件を満たす者。
 - (a) 出願時に日本の教育制度以外の課程にて教育を実施する日本国外所在の中等教育機関に在籍し、2027年3月31日までに卒業(修了)見込みの者。^{注1}
 - (b) 日本の教育制度以外の課程にて教育を実施する日本国外所在の中等教育機関を卒業(修了)し、かつ出願時に卒業(修了)後2年以内の者。
4. 日本国外所在の中等教育機関において、最終学年を含め、2学年以上を継続して在籍した者、または在籍予定の者。^{注2}
5. 次の(a) (b) (c)いずれかの要件を満たす者。^{注3}
 - (a) <2026年1月20日以前に受験>TOEFL iBT[®] (Home Edition を除く) のスコアが 72 以上の者。
<2026年1月21日以降に受験>TOEFL iBT[®] (Home Edition を除く) のスコアが 4.0 以上の者。
 - (b) 以下の計算式による TOEIC[®] Listening & Reading Test および TOEIC[®] Speaking & Writing Tests の合計スコアが 1560 点以上の者。
【計算式】
TOEIC[®] Speaking & Writing Tests のスコアを 2.5 倍にして、TOEIC[®] Listening & Reading Test のスコアと合算した合計スコア
$$\text{TOEIC S\&W} \times 2.5 + \text{TOEIC L\&R} = 1560 \text{ 点以上}$$
 - (c) 国際バカロレア資格を取得見込みの者。
6. 日本国外所在の中等教育機関において、日本の高等学校に相当する期間に、物理・化学・生物・地学等の理科に関する科目の成績が著しく優秀であったことが示される者、または、理科についてそれと同等の成果を有する者。^{注4}

注 1：各国の教育制度上、中等教育の最終学年が 12 年生 (Year 12) に満たない場合は、出願期間開始前に個別の出願資格審査を実施し、日本の大学入学資格を満たしているか審査します。ただし、本学入学日に満 18 歳に達している必要があります。出願資格審査を申請する場合は、人間科学部入試担当 (E-mail: admission19@list.waseda.jp) 宛にメールで連絡してください。なお、申請の内容によっては、根拠資料の提出を求めるなど審査に時間を要することがあります。また、申請内容によっては出願を認めないことがありますので、出願資格審査を希望する場合は、事前課題に着手する前を目安に、早めに申請してください。

注 2：文部科学省の認める在外教育施設 (日本の高等学校に相当する) については、出願資格 A (国内者向け) に該当します。

注 3：本学入学日から遡って 2 年以内に受験したスコア、結果を有効とします。

注 4：根拠書類として、日本の調査書に相当する、成績を証明する書類の提出を必須とします。その際、カリキュラムを確認できる資料 (教育課程表等) および「理科に関する科目」の授業内容を確認できる資料 (授業で扱う範囲や単位数等が分かるシラバス等) も併せて提出してください。

2. 出願手続

(1) 出願にあたっての注意事項 **重要**

- ・ 出願締切日を過ぎた書類および入学検定料の納入は、いかなる理由があっても一切受け付けません。
- ・ 出願書類に不備や不足書類があった場合は、受験資格を失うことがあります。必要書類が揃っているか十分に確認のうえで出願をしてください。また当学部から連絡があった時は速やかにその指示に従ってください。
- ・ 当学部へ提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合、提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。
- ・ 出願以降、入学志願票記載の住所・電話番号・メールアドレスに変更がある場合は、速やかに下記の URL から志願者情報の変更申請を行ってください。なお、住所変更等による書類・連絡未達が発生した場合でも、本学では一切の責任を負いません。
<https://waseda.box.com/v/1938admission-change>

(2) 受験・就学上の配慮

受付締切：2026年7月30日（木）までに人間科学部入試担当に連絡

身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、まず上記期日までに必ず人間科学部入試担当（E-mail: admission19@list.waseda.jp）にご連絡ください。配慮申請に必要な書類の説明、ご提出いただく流れをお伝えします。ご提出いただく書類に基づき配慮事項を検討しますので、余裕を持ってお早目にご連絡ください。

なお、大きな病気やけがのため、受験に支障をきたす恐れがある場合、あるいは出願後にそのような状態になった場合でも、速やかにご連絡ください。

(3) 入学検定料納入

選考	納入期間	金額	備考
1次選考	2026年8月27日（木）～9月8日（火）	10,000円	出願前に全員が納入必須
2次選考	2026年9月25日（金）～10月1日（木） ※予定（別途案内する書類をご確認ください）	25,000円	1次選考合格者のみ納入必須

入学検定料の納入は必ず納入期間中に行ってください。入学検定料を納入していない場合、出願・受験は一切認めません。また、期間を過ぎての納入はいかなる理由でも受け付けません。なお、1次選考・2次選考とも納入方法は同じです。なお、1次選考合格者は2次選考を受験するにあたり、2次選考の入学検定料納入が必須です。1次選考合格者にメールにて送付する案内文書をご確認ください。

<納入方法>

①コンビニエンスストアでの支払い

- ・ 入学検定料は最寄りのコンビニエンスストアで支払ってください。
- ・ コンビニエンスストアでの支払いに際しては、事前にパソコンもしくは携帯電話等によりインターネット上の「入学検定料コンビニ支払いサイト」（<https://e-shiharai.net/>）にアクセスをして所定の申込手続を完了させる必要があります。詳細は9ページの「コンビニエンスストアでの検定料払込方法」を確認してください。
- ・ 支払い終了後、『入学検定料・選考料取扱明細書』の「収納証明書」部分を切り取り、『入学志願票』の所定欄に貼り付けて提出してください。「領収書」は自身で大切に保管してください。
- ・ 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。（納入最終日は「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までとなります）。ただし、出願期間最終日に出願締切時間が設定されている場合は、締切時間までに支払いを行う必要がありますのでご注意ください。
- ・ 家族・知人が代理で手続をする場合でも、必ず志願者本人の情報を入力するようにしてください。
- ・ コンビニエンスストアでの支払いが困難な方は、事前に当学部まで連絡してください。

②クレジットカード・中国オンライン決済（銀聯カード）による支払い

- ・ クレジットカード・中国オンライン決済での支払いに際しては、パソコンもしくは携帯電話等により「インターネット上の支払いサイト」 (<https://e-shiharai.net/card/>) にアクセスをして所定申込手続きを完了させる必要があります。詳細は10ページの「クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法」を確認してください。
- ・ 支払い終了後、決済完了が表示されたWebページを印刷し、『入学志願票』にクリップ留めをして提出してください。
- ・ 支払いは、土日・祝日を問わず、24時間いつでも可能です。
- ・ 支払いに使用するカードは志願者本人以外の名義でも構いません。ただし、家族・知人が代理で手続きをする場合でも、「基本情報」には必ず志願者本人の情報を記入するようにしてください。

<出願書類および入学検定料の返還について>

一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、下記のケースに該当する場合は、入学検定料に限り全額または超過分を返還します。該当する方は人間科学部入試担当（E-mail: admission19@list.waseda.jp）に連絡してください。

- 1) 入学検定料を所定額より多く支払った。
- 2) 入学検定料を支払ったが、出願書類は提出しなかった。
- 3) 入学検定料を支払ったが、出願締切後に出願書類を提出した。
- 4) 入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たしていない等の理由により、出願が受理されなかった。

なお、クレジットカードにより入学検定料を納入した場合、返還に伴い発生する手数料等は志願者の負担となります。

早稲田大学 コンビニエンスストアでの検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

① まずはパソコン、スマートフォンで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net/>



端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

※入力内容を間違えた場合は、始めからもう一度やり直し、新たな番号を取得してお支払いください。
申込み完了後に通知する支払期限内に代金を支払わなければ、入力情報は自動的にキャンセルされます。

② コンビニでお支払い

- 検定料はATMでは振込できません。必ずレジでお支払いください。
- 「収納証明書」には収納印は押印されません。(コンビニ払込時には収納印は不要です)

7-Eleven
【払込票番号 (13ケタ)】

●レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】をお伝えください。
マルチコピー機は使用しません

●レジにて代金をお支払いください。
●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。

LAWSON **MINI STOP**
【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

Looppi へ
各種サービスメニュー
各種代金・インターネット受付 (紫のボタン)
各種代金お支払い
マルチペイメントサービス
【お客様番号】【確認番号】を入力

●端末機より「申込み控え」(レシート)が出力されますので、30分以内にレジでお支払いください。
●その際、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。
※画面ボタンのデザイン等は、予告なく変更される場合があります。

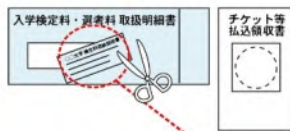
FamilyMart
【お客様番号 (11ケタ)】
【確認番号 (4ケタ)】

マルチコピー機 へ
代金支払い
番号入力画面に進む
【お客様番号】【確認番号】を入力

③ 出願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

- セブン-イレブン ●ファミリーマート
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。



- ローソン ●ミニストップ
「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



切り取った「収納証明書」を入学志願票の所定の欄に貼付。



入学志願票に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を貼付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを発色させる場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く発色する恐れがあります。

■注意事項

- 出願期間を入試要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機での操作は23:30までです。
- 一度お支払いされた検定料は、コンビニでは返金できません。
- 取扱いコンビニ、支払い方法は変更になる場合があります。
変更された場合は、Webサイトにてご連絡いたします。

●検定料の他に事務手数料が別途かかります。 ※事務手数料は変更になる場合があります。

事務
手数料

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
～ 9,999 円	500 円
10,000 円 ～ 29,999 円	570 円
30,000 円 ～ 49,999 円	600 円
50,000 円 ～ 99,999 円	820 円
100,000 円 ～	890 円

「検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお応えできません。詳しくはサイトでご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

早稲田大学 クレジットカード・銀聯カードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!これが簡単・便利なシンプルスタイル!

クレジットカード・銀聯カードを利用して検定料のお支払いが可能です。



Web申込みくオンライン決済

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。



<https://e-shiharai.net>

端末の未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。



1. トップページ

お支払い先を選択してください。

2. 学校選択

申し込みをする学校の学校名をクリックしてください。

3. 学校案内

注意事項等を確認のうえ、個人情報の取扱について同意してください。

4. カテゴリ選択

第1～第4選択を選択して「次へ」をクリック

5. 基本情報入力

申込者本人の基本情報を入力してください。
支払い方法を選択し、「次へ」をクリック

クレジットカードの場合

支払いに利用するカード番号(16桁)を入力してください。
※ American Expressの場合は15桁
※ お支払いされるカードの名義人は申込者本人でなくても構いません。

全入力内容が表示されますので、
よろしければ「上記の内容で確定する」をクリック

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する
携帯電話をご利用の場合は、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。

銀聯カードの場合

画面の指示に従って、支払いを完了してください。

「申込内容照会」にアクセスし「照会結果」を印刷する

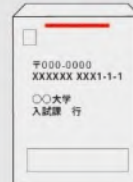


出願

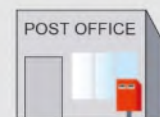
印刷した「申込内容照会結果」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



必要書類



郵便局から
郵送にて出願。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- 出願・申請書類に記載されている支払い期間内であれば、いつでもお支払い可能です。
支払い期間を入学要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日は日本時間の23:00までにカード決済を完了させてください。
- 銀聯カードで決済する場合は、パソコンからお申し込みください。
- カードの名義人は、申込者本人でなくても構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- 申込内容照会は、e-shiharaiサイトの「申込照会」にて、お申し込み時に通知された【受付番号】【生年月日】を入力すると表示されます。
- カード審査が通らなかった場合は、カード会社へ直接お問い合わせください。

■手数料について

検定料の他に事務手数料が別途かかります。

入学検定料金額	事務手数料(消費税込)
～ 29,999 円	565 円
30,000 円 ～ 49,999 円	1,005 円
50,000 円 ～ 69,999 円	1,446 円
70,000 円 ～ 99,999 円	1,833 円
100,000 円 ～ 199,999 円	2,074 円
200,000 円 ～ 299,999 円	2,618 円
300,000 円 ～	4,400 円

事務手数料は変更になる場合があります。

クレジットカード・銀聯カードでの検定料納入についてのお問い合わせは、サイトのよくある質問をご確認ください。

(4) 出願期間

2026年9月1日(火)～9月8日(火)【締切日消印有効】

出願締切日を過ぎた書類はいかなる理由でも一切受け付けません。

(5) 出願方法

- ・ 出願は郵送受付のみです。事務所へ直接持参での提出は一切受け付けません。
- ・ 郵送前に作成した出願書類のコピーを取っておくことを推奨します。
- ・ 出願用の封筒はご自身で準備してください。市販の封筒(角型2号サイズ)に出願書類一式を封入し、当学部所定の「出願書類提出用ラベル」を封筒の宛名面に貼付し、必ず郵便局窓口で、[簡易書留・速達郵便]で郵送してください(ポストへの投函は不可)。
- ・ 出願書類の到着の有無に関する問い合わせにはお答えできません。出願書類到着の確認は、郵便局の追跡サービスで確認してください。

(6) 出願書類作成にあたっての注意事項

- ・ 出願書類は[所定用紙]を使用してください。[所定用紙]フォーマットはすべて人間科学部 Web サイトから自身で印刷して準備してください。すべてPDFファイルです(他のファイル形式での配布は行いません)。
- ・ [所定用紙]フォーマットはすべてA4サイズの白紙に、必ず片面で印刷してください。
- ・ 出願書類はすべて原本を提出してください。
- ・ すべての書類は読みやすい字で、丁寧に記入してください。
- ・ 各出願書類の本人氏名欄は必ず手書きで記入してください。
- ・ 各出願書類の作成は、手書き、コンピュータ(PC)等で別途作成して印刷したものを切り貼りする(のり付け)など、いずれの方法でも可とします。ただし、はみ出しや折り込みは認めません。所定用紙の体裁は厳守して、必ず指定の枠線内に収めてください。
- ・ 文字は楷書、数字は算用数字で記入してください。
- ・ 黒ボールペンを使用してください(鉛筆やシャープペンシル、消せるペン等の消えるものは不可)。
- ・ 所定用紙の指定欄以外(受験番号欄など)には何も記入しないでください。
- ・ 出願書類は、戸籍に記載されている氏名を記入して提出してください。ただし、戸籍の氏名が旧字体であっても、通常略字体である常用漢字を使用している場合は、常用漢字で記入して結構です。

(7) 出願書類一覧

次項(8) 出願書類別の注意事項を参照のうえ書類を準備してください。

	提出物	所定用紙	準備・作成者
1	調査書(要厳封)もしくは成績を証明する書類		学校
★	履修科目振替申請書	様式⑤	
★	根拠資料(教育課程表・シラバス等)		
2	出願書類チェックリスト	様式①	志願者本人
3	申請フォームの自動返信メール(A4用紙にプリントアウト)		
4	入学志願票	様式②	
5	写真票	様式③	
6	志望理由書	様式④	
7	外国語資格・検定試験の合格証明書・スコアシート(原本)または国際バカロレア(IB)「最終試験の成績見込評価証明書(Predicted Score)」		
8	事前課題	別紙参照	
9	パスポートのコピー	出願資格Bのみ	
10	戸籍抄本	該当者のみ	

(8) 出願書類別の注意事項

1. 調査書 [在籍(出身)学校所定用紙] もしくは成績を証明する書類

- ・ 出願資格 A (国内者向け) に該当する方は「調査書」、出願資格 B (帰国生向け) に該当する方は日本の調査書に該当する「成績を証明する書類」を提出してください。
- ・ 「調査書」は必ず厳封されたものを提出してください。
- ・ 記入を間違えた場合は、修正液等を使用せず、誤記入部分に二重線を引き、上から作成者の訂正印を押したうえで再度(できるだけ枠内に)記入してください。
- ・ 「調査書」には、高等学校または中等教育学校後期課程の1年1学期または前期から3年(4年制定時制は4年)1学期または前期までの評定を必ず記載してください。なお、出願時に3年1学期または前期までの評定を記載できない場合は、人間科学部入試担当(admission19@list.waseda.jp)にご連絡ください。また、2026年4月1日時点で卒業されている方は、高等学校または中等教育学校後期課程卒業時における全体の評定を必ず記載してください。
- ・ 以下に該当する場合は、「調査書」の「指導上参考となる諸事項」欄に明記してください。
 - 留学の場合は留学期間および留学先の国名・学校名、休学の場合は学校長が許可した休学期間(可能なら休学理由も含む)、編入学や転入学の場合は編入・転入した学年および時期を明記してください。
- ・ 以下に該当する場合は「調査書」の「備考」欄にその旨を明記してください。
 - スーパーサイエンスハイスクール(SSH)やスーパーグローバルハイスクール(SGH)、通信制、単位制による課程の学校の場合など

★履修科目振替申請書、根拠資料(教育課程表・シラバス等)

出願資格 A (国内者向け)

- ・ スーパーサイエンスハイスクール(SSH)やスーパーグローバルハイスクール(SGH)など、独自の理数系科目に重点をおいたカリキュラムにおいて、数学および理科の内容に相当する、またはそれ以上に高度な内容をカリキュラム独自の科目名称により履修している場合や、「理系数学」「理系物理」「理系化学」「理系生物」など発展的な内容を履修している場合は、その科目を数学・理科に振り替えても支障ありません。ただし、その場合は必ず以下をご提出ください。
 - 様式⑤「履修科目振替申請書」に、「振り替えをする数学・理科の科目名」と「その科目に相当する高校独自の科目名」を記入の上、ご提出ください。
 - カリキュラム・授業内容等を補足的に説明する根拠資料(例:授業で扱う範囲や単位数が記載されているシラバスなど)もあわせてご提出ください。
- ・ カリキュラムの都合により「物理」「化学」「生物」「地学」の科目を履修することが不可能である場合に限り、「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から3科目以上の履修で出願を認めます。ただし、その場合は必ず以下の書類をご提出ください。
 - 様式⑤「科目振替申請書」の「振替不可能」欄にチェックを入れ、「物理」「化学」「生物」「地学」の科目を履修することが不可能である理由を記入してください。
 - カリキュラム・授業内容等を補足的に説明する根拠資料(例:授業で扱う範囲や単位数が記載されているシラバスなど)もあわせてご提出ください。

出願資格 B (帰国生向け)

カリキュラムおよび「理科に関する科目」の授業内容等を補足的に説明する根拠書類(例:授業で扱う範囲や単位数が記載されているシラバスなど)を必ず提出してください。

2. 出願書類チェックリスト [様式①]

- ・ チェックリストは「出願書類送付用封筒」に同封して必ず全員提出してください。
- ・ 出願書類を郵送する前に備考欄に記載の注意事項を満たしているかを確認しつつ、必要な書類が全て揃っているかチェック欄に✓を入れて確認してください。

3. 申請フォームの自動返信メール (A4用紙にプリントアウト)

- ・ 下記のURLから申請フォームへの入力を行ってください。
https://my.waseda.jp/application/noauth/application-detail-noauth?param=BzTdy2Sg3khXi_25tcgvrg
- ・ 入力したメールアドレス宛に申請フォームの自動返信メールが届きます。数時間経ってもメールが届かない場合は、人間科学部入試担当(E-mail: admission19@list.waseda.jp)にご連絡ください
- ・ 今後、入学試験に関わる情報をメールで送ることがありますので、適宜受信メールの確認をしてください。
- ・ 入学志願票に記載の内容と相違があった場合、申請フォームの内容を優先します。

4. 入学志願票 [様式②]

- ・ 以下の記入方法を参考に、志願者本人が作成してください。

- ・ 記入を間違えた場合は、修正液等を使用して修正してください。訂正印は不要です。

項目名	記入方法
志望学科	3 学科のうち志望する学科 1 つに○をつけてください。
フリガナ	カタカナで氏名を記入してください。
氏名	漢字で氏名を記入してください。漢字氏名がない場合は、カタカナで記入してください。
ローマ字氏名	英字アルファベットで氏名を記入してください。パスポートを取得している場合はパスポートに記載されている表記に統一してください。
生年月日	西暦で記入してください。
性別	性別を記入してください。本学では、入学試験の円滑な実施と入学手続の必要上、合理的理由があると判断される必要最小限に留め、戸籍またはパスポート等の公的書類上の性別情報を収集しています。パスポート等の公的書類上の性別が男女のいずれでもない方は、出願に先立ち、人間科学部入試担当 (E-mail: admission19@list.waseda.jp) までご連絡ください。性別情報が合否に影響を及ぼすことは一切ありません。 https://www.waseda.jp/inst/diversity/support/sexual-minority/
自宅電話 携帯電話	志願者の現在の住居の固定電話の番号、および携帯電話番号をそれぞれ記入してください。出願について確認をする場合があるので、本人に連絡のつく番号を記入してください。
現住所	現在の住所を項目ごとに分けて記入してください (建物マンション名まで明記)。この欄に記載した住所宛に「受験票」などを送付します。
メールアドレス	受信メールをすぐに確認できるメールアドレスを記入してください。この欄に記載したメールアドレス宛に面接試験当日の詳細や入学手続の案内を送付します。
外国語資格・ 検定試験	提出するものいずれか 1 つを選択して○をつけてください。 スコアカード、合格証明書等を提出してください。
高校コード	在籍している学校の高校コードを記入してください。各学校の高校コードは下記の URL に記載しております。 https://waseda.box.com/v/admission19-code-2027
高校名・学科	在籍している学校名と学科名称 (例: 普通科) を記入してください。
学校課程	該当するものに○をつけてください (普通、商、工、その他)。 「その他」には、理数科・英語科・総合学科・芸術科・農学科などが該当します。
学期制度	該当するものに○をつけてください 三学期制: 1 年間で 1~3 学期で分ける 二学期制: 1 年間で前期・後期で分ける
在留資格 (外国籍の方のみ)	国籍がある国名を記入してください。 有無のいずれかに○をつけてください。有の場合は、種類・期限を記入してください。

- ・ 検定料納入後、収納証明書 (コンビニ決済の場合) または申込内容照会結果のプリントアウト (クレジットカード決済の場合) を「2. (3) 入学検定料納入」の注意事項に従って入学志願票に貼付またはクリップ留めをしてください。
- ・ 写真は「5. 写真票」と同じ条件で準備してください。

5. 写真票 [様式③]

- ・ 写真は入学志願票と同一のものを使用してください。
- ・ 作成した写真票は必ず写真票の枠線で切り取ってから提出してください。
- ・ タテ4cm×ヨコ3cmの証明写真 (出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真 (上半身・正面・無帽・無背景・枠なし)) とします。サイズを厳守してください。
- ・ マフラーやサングラスなどを着用したままで撮影された写真は受け付けません。ただし、医療上、宗教上の理由で帽子等を着用した写真を提出したい場合は、出願に先立ち、人間科学部入試担当 (E-mail: admission19@list.waseda.jp) までお問合せください。また、スナップ写真等の不鮮明な写真や、髪型の違い等により個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。
- ・ スマートフォン等で個人が撮影・印刷された写真は受け付けません。必ず証明写真 (スピード写真可) で撮影してください。
- ・ 裏面に氏名を記入のうえ、所定欄に全面糊付けしてください。
提出された写真は、試験当日の本人確認で使用しますので、本人を判別できるような写真を用意してください。また、学内諸手続における本人確認、および学内の各種Webサービス等に本人情報として登録することがありますので、予めご了承ください。

6. 志望理由書 [様式④]

- ・ 学校名、フリガナ、氏名、生年月日 (西暦)、志望学科 (1 つに○) を記入してください。

- ・ 記入を間違えた場合は、修正液等を使用して修正してください。訂正印は不要です。

＜入学後のライフデザイン＞

- 人間科学部に入学した後の、あなたの正課授業履修や、課外活動（サークル活動等を含む）の計画・ビジョンを示してください。第三者に伝わるように、文章や図表を複合的に用いて説明してください。なお、授業履修について示す際は、できる限り具体的な科目名と関連づけて説明してください。
- 手書き、コンピュータ（PC）等で作成・印刷したものを切り貼りするなど、いずれの方法でも可とします。ただし、枠内への記載を厳守してください。また、立体的な製作物等は認めません（折りたたむことも不可）。カラーの使用は可とします。
- 「人間科学部 Web サイト」、「人間科学部 2026 年度 学部要項」、「シラバス検索」なども参考にしてください。
 - ◇ 人間科学部 Web サイト（学部・学科・カリキュラム、パンフレット）
<https://www.waseda.jp/fhum/hum/>
 - ◇ 2026 年度学部要項（履修・卒業条件や資格取得等のルール）
<https://waseda.box.com/s/2acl1vfxt4hv1u3oqildxdkuf7yii5q>
 - ◇ シラバス検索
<https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.php>
現在開講している科目の講義内容を参照できます。ただし次年度以降も同じ講義内容とは限らないため、参考情報として参照してください。

＜志望理由＞

【作成上の注意】を守って作成してください。

- ① 必ず志願者本人が日本語で、自筆で記入してください（読みやすい、丁寧な字で書くこと）。
- ② 内容には次の3点を必ず入れてください。
 - 1) 選択した学科を志望する**具体的な理由**
 - 2) 人間科学部で研究したいこと
 - 3) 将来（卒業後）の抱負
- ③ ヨコ書きで1,200字以上1,500字以内にまとめてください（句読点を含む）。改行による空欄も字数に含まれます。また、数字やアルファベット等の半角文字は1マスに2つつ記入してください。

7：外国語資格・検定試験の合格証明書・スコアシート または 国際バカロレア（IB）「最終試験の成績見込評価証明書（Predicted Score）」

以下の表を参考に提出してください。

出願資格 A（国内者向け）

TOEIC® Listening & Reading Test※1	TOEFL iBT® ※2	IELTS (Academic Module) ※3
GTEC (Advanced/CBT) ※4	TEAP (技能パターンは問わない)	実用英語技能検定 (英検) ※5
ドイツ語技能検定試験	ゲーテ・ドイツ語検定試験	実用フランス語検定試験
DELFDALF (フランス国民教育省認定フランス語資格試験)	実用中国語検定試験	HSK (中国語検定)
スペイン語技能検定	DELE (スペイン語検定試験)	
国際バカロレア (IB) での出願者は「最終試験の成績見込評価証明書 (Predicted Score)」		

- ・ 上記の外国語資格・検定試験の中でいずれか1種類（複数回受験している場合はいずれか1回分）のスコアシートまたは合格証明書の原本を提出してください。ただし、いずれの試験においても自宅受験型（Home Edition 等）は対象から除きます。**なお、入学日（2027年4月1日）から遡って2年以内に受験した試験のみ有効です。**
- ・ 必ずスコアシート・合格証明書等の**原本**を提出してください。コピーしただけのものは証明として認めません。なお、TOEIC、TOEFL iBT®、IELTS のみスコアのデジタル直送の手配もする必要があります。
- ・ やむを得ない事情により原本を提出することができず、在籍中の高等学校等において原本照合（次ページ参照）が可能な場合は、それらをスコアシート等の原本に代わりに提出することを認めます。
- ・ スコアシートは原則返却しません。
- ・ 必ず出願期間中に他の出願書類と一緒に提出してください（後日の提出は認めません）。
- ・ 各自で申込手続きを行い、受験してください。受験に必要な費用は各自で負担してください。

※1 TOEIC を日本国内で受験した場合、2種類のスコアレポート両方の提出が必要です。

- ① スコア確認サービス：TOEIC 申込サイトを通してスコアを提出してください。提出方法の詳細は下記リンクをご参照ください。提出先団体選択において申請コード” 00019713”（早稲田大学 人間科学部・人間科学研究科）を入力してください。<https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score2.html>
- ② デジタル公式認定証の PDF を印刷したもの：TOEIC 申込サイトよりダウンロード可能なデジタル公式認定証の PDF を印刷し、出願書類と合わせて提出してください。

※2 TOEFL iBT® は2種類のスコアレポート両方の提出が必要です。

- ① Test Taker Score Report：Web ページからダウンロード
- ② Official Score Reports：ETS（Education Testing Service）から本学へ電子スコア直送の手配をしてください。Institution Code は「C449」（人間科学研究科との共通コード）を入力してください。

※3 IELTS (Academic Module) は2種類のスコアレポート両方の提出が必要です。

- ① IELTS 成績証明書のコピー：お手持ちの成績証明書（Test Report Form）をコピーして提出
- ② IELTS 成績証明書（直送）：IELTS の Web ページより、電子スコア直送の手続きをしてください。
 - ・機関名 / Institution：早稲田大学（Waseda University）
 - ・部署 / Department：人間科学学術院（Faculty of Human Sciences）
 - ・住所 / Address：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学入学センター（1-6-1, Nishi-waseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-8050 Japan, Admissions Center, Waseda University）
 - ・配送方法 / Delivery Method：電子スコア配送（Electronic Score Delivery）

※4 GTECのスコアシートはオフィシャルスコアに限り有効とします。

※5 実用英語技能検定（英検）は、合格証明書の「和文」または CSE スコア証明書を提出してください。

出願資格 B（帰国生向け）

種類	基準点	提出物
TOEFL iBT® (Home Edition を除く)	2026 年 1月20日以前 受験 72	2 種類のスコアレポート 両方 の提出が必要です。 ① Test Taker Score Report Web ページからダウンロードの上、印刷して提出してください。 ② Official Score Reports ETS (Education Testing Service) から本学へ直送の手配をしてください。Institution Code は「C449」（人間科学研究科との共通コード）を入力してください。
	2026 年 1月21日以降 受験 4.0	
TOEIC® L & R TOEIC® S & W の両方	1560 (※)	<p>【日本国内で TOEIC を受験した方】 L&R / S&W のそれぞれについて、2 種類のスコアレポート 両方 の提出が必要です。</p> <p>① スコア確認サービス TOEIC 申込サイトを通してスコアを提出してください。提出先団体選択において申請コード「00019713」（早稲田大学人間科学部・人間科学研究科）を入力してください。提出方法の詳細は下記リンクをご参照ください。 https://www.iibc-global.org/toEIC/test/lr/guide04/score2.html</p> <p>② デジタル公式認定証 TOEIC 申込サイトよりダウンロード可能なデジタル公式認定証の PDF を印刷し、出願書類と合わせて提出してください。</p> <p>【日本以外の国で TOEIC を受験した方】 L&R S&W の両方について、Official Score Certificate（公式認定証）の原本を出願書類と合わせて出願期日までに提出してください。</p>
国際バカロレア（IB）での出願者は「最終試験の成績見込評価証明書（Predicted Score）」を提出		

※TOEIC® Speaking & Writing Tests のスコアを 2.5 倍にして TOEIC® Listening & Reading Test のスコアと合算した点数で判定します。

- ・ 本学部が定める基準点以上のスコアシートをご提出ください。
- ・ 上記の外国語資格・検定試験の中でいずれか 1 種類（複数回受験している場合はいずれか 1 回分）のスコアシートを提出してください。なお、入学日（2027年4月1日）から遡って2年以内に受験した試験のみ有効です。
- ・ 国外で TOEIC を受験した場合、Official Score Certificate（公式認定証）の**原本**を提出してください。コピーしただけのものは証明として認めません。ただし、在籍（出身）学校において原本照合（下記参照）が可能な場合は、それらをスコアシート等の原本に代えて提出できます。
- ・ スコアシートは返却しません。
- ・ 必ず出願期間中に他の出願書類と一緒に提出してください（後日の提出は認めません）。
- ・ 各自で申込手続きを行い、受験してください。受験に必要な費用は各自で負担してください。

【原本照合とは】

スコアシート・合格証明書等のコピーに、在籍（出身）学校の学校長等が「事実と相違ない旨」を証明することを指します。原本照合の形式は高等学校等によって異なりますが、多くの場合、校長印や校長の署名によって証明が行われます。詳しくは、在籍（出身）学校へお尋ねください。なお、原本照合を行う用紙が複数枚に渡る場合は、すべての紙に原本照合を行うか、もしくは割印を押印してください（署名もしくは押印がない用紙は無効として扱います）。

8: **重要** 事前課題 [所定用紙]

出願にあたり、事前課題の提出は必須です。詳細は、6月中旬に当学部 Web サイトに公開する「事前課題」を必ず確認のうえ、記載の指示に従い、余裕をもって出願の準備を行ってください。解答用の「レポート表紙」は、「事前課題」と同時に公開します。

9: パスポートのコピー [出願資格Bのみ]

- ・ 出願資格Bに指定している通り、日本国籍を確認できるページ（証明写真ページ等）もしくは「出入国管理及び難民認定法の別表第二」に掲げる在留資格を確認できるページ（上陸許可証印ページ等）をコピーして提出してください。
- ・ 国籍を複数所持している場合は全てのパスポートのコピーをご提出ください。

10: 戸籍抄本 [該当者のみ]

- ・ 改姓や改名のため、証明書等に記載されている氏名が入学志願票の氏名と異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

(9) 受験票の送付

出願受付後、出願が受理された志願者に対し、入学志願票に記載された住所宛に受験票を送付します。9月17日になっても受験票が届かない場合は、人間科学部入試担当（E-mail: admission19@list.waseda.jp）までお問い合わせください。受験票は入学後学生証の交付時に必要となりますので、大切に保管してください。

3. 選考

(1) 選考方法（1次選考の合格者のみ2次選考を実施します）

選考	選考方法	補足
1次選考	書類審査	出願書類を総合的に審査
2次選考	論述試験	数量的データの分析・論考・表現を含む論述試験
	面接試験	

(2) 2次選考日程

選考日	集合場所	集合時刻	選考時間	
2026年10月10日(土)	所沢キャンパス 100号館211教室 (予定)	9:40	10:00~12:00 (120分)	論述試験
		13:10	13:30~ (1人20分程度)	面接試験

※面接試験の順番は当日開始前にお伝えします

(3) 2次選考の注意事項

<論述試験・面接試験共通の注意事項>

[1]準備

- ・ 文房具、時計等の貸し出しは行っていませんので、必要な物品は各自で忘れずに持参してください。
- ・ 教室内に時計はありませんので必要な方は時計を持参してください。なお、時計以外の機能があるものを持ち込みは認めません。
- ・ 受験時の交通・宿泊については各自で手配してください。
- ・ 貴重品は各自で管理してください。

[2]入場

- ・ 集合時刻等の詳細は、1次選考合格者発表時にメール送付する書類にてご案内します。
- ・ 「受験票」を忘れずに持参してください。受験票のない方は入場できません。
- ・ 試験開始後 20 分を経過してからの入場は認めません。

[3]集合

- ・ 集合時刻（試験開始 20 分前）までに集合場所（試験教室）に入り、自分の受験番号の席に着いてください。
- ・ 携帯電話等は電源を切り、机の上には置かずかばんにしまってください。身に付けることは認めません。

[4]服装・帽子

- ・ 試験教室内の室温の調整には留意しますが、座席の位置によっては「寒い」「暑い」など感じる場合もありますので、試験当日は温度調整の可能な服装をお勧めします。
- ・ 文字や地図等がプリントされている上着等の着用やひざ掛け／座布団等の使用は認めません。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- ・ 試験時間中の着帽は認めません（フードの着用も認めません）。

[5]昼食

- ・ 午前／午後とも試験を行いますので、昼食の準備をお勧めします。なお、当日はキャンパス内の学生食堂および売店は営業しておりません。

<論述試験>

- ・ いかなる場合も「解答用紙」は提出してください。持ち帰りは認めません。
- ・ 試験終了時刻より前に答案が完成した場合も含め、試験時間終了後、答案の回収／確認作業が完了し監督員の指示があるまでは退出できません。

<面接試験>

- ・ 面接時間は 1 人 20 分程度を予定していますが、面接の進捗等により終了時刻が前後する場合があります。

<その他>

- ・ 基本的な感染予防対策（手洗い等の手指衛生や咳エチケット等）を徹底してください。なお、本学ではマスクの着用は個人の判断に委ねます。
- ・ 学校保健安全法で出席の停止が求められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督員への感染の恐れがあるため、受験をご遠慮ください。
- ・ 上記に該当しない場合でも、試験当日までに発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医等に相談のうえ、当日の受験を見合わせる等、その指示に従ってください。
- ・ 欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や検定料の返還は行いません。

4. 試験時間中に使用できる物品・使用を認めない物品について

試験時間中に使用できる物品は下表のとおりです。ただし表に含まれる物品を使用している場合でも、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督員が確認する、または使用を認めないことがあります。また、文房具・時計等の貸し出しは行っていませんので、必要な物品は各自で忘れずに持参してください。

(1) 使用できる物品

物 品	注 意 事 項
黒鉛筆	HB（黒）のみ使用を認めます。ただし、和歌・格言等が記されているものは使用を認めません。
シャープペンシル	HB（黒）のみ使用を認めます。 ※替え芯ケースを机の上に置くことは認めません。試験時間中は各自のかばんの中にしまっておき、使用する場合は監督員に申し出てください。
プラスチック消しゴム	
時計	試験教室には時計を設置していませんので、必ず各自で持参してください。 ただし、以下に留意してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・秒針音のするものは周囲の受験者の迷惑となる可能性があるため使用を認めません。 ・辞書・電卓等の、時計・計時以外の機能のあるものは、使用を認めません。 ・通信機能のあるものは、それが電波を発しない状態であっても使用を認めません。 ・スマートフォン・スマートウォッチ等を時計・ストップウォッチとして使用することは認めません。 ・キッチンタイマー・学習タイマーの使用は認めません。 ・試験時間中に時計のアラーム音等が鳴った場合、不正行為となることがあります。 ・他の受験者の迷惑になる可能性や試験の円滑な実施に支障をきたす、または不正行為につながると試験監督員が判断した場合、試験場において試験監督員が確認し、使用を認めない場合があります。
眼鏡	写真照合の際にいったん外していただくことがあります。
ティッシュペーパー	袋または箱から中身だけ取り出して使用してください。
ハンカチ、ハンドタオル、座布団（クッション）、ひざ掛け	文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。
目薬・点鼻薬	試験時間中は机の上に置かず各自の荷物の中にしまっておき、使用する場合は監督員に申し出てください。
鉛筆削り	他の受験者の迷惑にならない範囲で使用を認めます。
マスク	写真照合の際に一旦外していただきます。文字や地図等がプリントされているものは使用を認めません。

※サポーター、テーピング、包帯、湿布、ギプス、眼帯、コルセットを着用したまま受験することはできますが、試験時間中に着脱する場合は、監督員に申し出て許可を得てください。

(2) 使用を認めない物品

上記「使用できる物品」以外の物品の使用は原則として認めません。机の上に置いている場合や使用した場合は、不正行為とみなされる場合があります。以下は「使用を認めない物品」の一例です。

物 品	注 意 事 項
通信機能のある電子機器（携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、スマートグラス等）	電源を必ず切ってかばんの中にしまってください。 試験時間中にかばんの中にしまっていなかった場合には、受験者の故意・過失に関わらず、その電源が切られている状態であっても、原則として不正行為とみなします。 <u>※時計・ストップウォッチとしての使用も認めません。</u> <u>※Bluetooth, Wi-Fi, データ通信など、日時・時刻以外の情報を送信、受信、または送受信が可能な機能が搭載された機器は全て認めません（例：「スポーツウォッチ」や「ランニングウォッチ」として利用し、日時・時刻の情報しか参照していなかったと</u>

	しても、当該機能が搭載されていれば使用を認めません)。ご自身で該当するかどうか判断がつかない場合はかばんの中にしまってください。
通信機能のない電子機器（電卓・電子辞書・音楽プレーヤー・ICレコーダー・イヤホン・キッチンタイマー・学習タイマー等）	必ず、電源を切ってかばんの中にしまってください。 ※時計・ストップウォッチ機能が搭載されていても使用は認めません。
耳栓	耳栓は監督員の指示が聞こえない可能性があるため使用を認めません。
飲食物	ペットボトル飲料、飴、ガム等を含みます。
黒鉛筆・シャープペンシル以外の筆記用具（ボールペン、蛍光ペン、赤ペン等）、筆箱	
補聴器、帽子、バンドナ、車椅子等	障がい等により使用を必要とする場合は、出願に先立ち、配慮申請を行う必要があります。また、服についているフードを被ることも帽子に相当するものとして認めません。※ヘアバンド、ヘアゴム等は無地のものに限りです。
参考資料（辞書含む）	ノートやプリントなどの参考資料や、辞書（冊子）等の使用は認めません。
手指用消毒液等の除菌用品	試験中は必ずかばんの中にしまってください。

5. 早稲田大学入学試験受験に際しての注意事項

本学では、入学試験を厳正に実施し、全ての受験者が公平・公正に受験できるよう、適切な受験環境の保持に努めています。

本学入学試験の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真摯な態度で試験に臨んでください。

◆不正行為について

1. 本学に提出した書類・資料、提供した情報等（以下、「本提出書類等」といいます。）に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為認定の対象となります。

2. 次のことをすると不正行為認定の対象となります。

- ① カンニングをすること（試験時間中にカンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する、他の受験者の答案等を見る、他の人から答えを教わる、身体・物品・机等にメモをする、メモを見るなど）。
- ② 筆記試験において、試験時間中に使用できる物品以外の物品を使用すること（机の上に置くこと、身に付けることを含む）。
- ③ 筆記試験において、監督員による「試験開始です。」の指示の前に、問題冊子・解答用紙に触れること（冊子を開く、解答を始める、裏面・余白等に書き込みを行うなど）。
- ④ 筆記試験において、監督員による「試験終了です。筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにしてください。」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
- ⑤ 試験時間中に、答えを教える等、他の受験者を利するような行為をすること。
- ⑥ 試験時間中に電子機器等の音（着信・アラーム・振動音等）を鳴らすこと。
- ⑦ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑧ 試験場において監督員等の指示に従わないこと。
- ⑨ 受験者以外の者が受験者本人になりすまして試験を受けること。
- ⑩ 解答用紙を持ち帰ること。
- ⑪ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

3. 不正行為の疑いがある場合、次のような対応をとることがあります。これらに感じない場合、不正行為を自認したものとみなします。

- ・ 監督員等が注意をする、または事情を聴くこと。
- ・ 別室または別席での受験を求めること。
- ・ 本提出書類等につき、その真正性等を確認するために、本学が発行元・提供元および論文審査機関等に対して、

本提出書類等を提供して問合せをすること。志願者は本提出書類等を本学に提出または提供したことをもって、本学がこの問合せを行うことに同意したものとす。

4. 不正行為と認められた場合、次のような対応をとることがあります。

- ・ 当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めないこと（入学検定料は返還しない）。
- ・ 当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とすること。

なお、入学後に不正行為と認められた場合は、本学規程に基づき入学取消の対象となることがあります。

本学が極めて悪質かつ重大であると判断した不正行為については、警察への通報や不正行為者の在籍（出身）高校・保護者等への報告を行う場合があります。

◆受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応をとることがあります。

- ① 生活騒音（自動車・航空機・風雨・換気・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話等の鳴動等）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。また、試験中に監督員が小声で最低限の打ち合わせを行う場合がありますが、この場合も原則として特別な措置は行いません。
- ② 試験中に携帯電話や時計等の音・振動等が発生し、発生源のかばん等が特定できた場合、持ち主の同意なく監督員が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管すること、あるいはかばんの中から携帯電話・時計等を取り出し鳴動停止の操作をすることがあります。
- ③ 隣席の受験者の手洗いや、体調不良による入退室のため、監督員の指示により席を立っていただくことがあります。その場合でも、原則として試験時間の延長等特別な措置は行いません。
- ④ 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による相違は一切考慮しません。
- ⑤ 他の受験者が迷惑と感ずる行為がある場合、別室または別席での受験を求めることがあります。

◆不可抗力による事故等について

台風、洪水、地震、津波等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や首都圏の主要な交通機関の乱れが発生した場合、試験開始時刻および終了時刻の繰下げ、試験の延期等の対応措置をとることがあります。なお、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については一切責任を負いません。

◆体調不良・病気

試験当日までに呼吸困難、倦怠感、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、基礎疾患等により重症化しやすい受験者が発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合の他、発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合は、試験当日における対応等について、かかりつけ医等に相談のうえ、その指示に従ってください。

また、試験当日は救護所に看護師が待機しています。試験中に体調が悪くなった場合には、その旨を監督員に速やかに申し出てください。体調不良が疑われる受験者に対して、監督員が救護所を案内する場合があります。ただし、移動等に時間がかかった場合でも試験時間の延長は認めません。

なお、感染症の罹患を含む体調不良により欠席した場合でも、本学が特別な対応を公表した場合を除いて、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。

◆落し物

物品を紛失した場合は、試験場の監督員に申し出てください。また、翌日以降は人間科学部入試担当（E-mail: admission19@list.waseda.jp）までお問い合わせください。なお、試験当日の遺失物は、所沢総合事務センターで3ヵ月間保管し、その後処分します。

◆受験票の紛失

人間科学部入試担当（E-mail: admission19@list.waseda.jp）までお問い合わせください。

◆付添者控室

試験当日、受験者以外の方は試験会場に入れません。また試験会場付近での待機もご遠慮願います。付添者の方は学生食堂等、試験会場から離れた場所でお待ちください。

◆その他

試験において特別な対応を取った場合は、当学部 Web サイト上でお知らせします。

6. 合格者発表

(1) 発表日

選考	発表日	備考
1次選考	2026年9月25日(金) 10:00	※合格者には「2次選考の案内」をメールにて送付します。 ※ <u>1次選考の合格者は2次選考の入学検定料を必ず納入してください。</u>
2次選考	2026年11月1日(日) 10:00	※最終合格者には「合格者手続に関するご案内」をメールにて送付します。



(2) 発表方法

受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」で合否結果を発表します。以下のURLにアクセスし、「合否照会ログイン画面」へ移動し、必要項目を選択・入力して、合否を確認してください。UCAROの会員登録を行わなくても合否を確認できます。

<https://www.ucaro.net/gouhi/304076A/>



合否照会ログイン画面での選択・入力内容

項目	選択・入力内容
種別コード	<p>以下の画面から、該当する学部・大学院・高校の種別コードを確認し、入力。</p>  <p>(中略)</p> 
受験番号	ご自身の受験番号5桁を半角数字で入力
生年月日	ご自身の生年月日（出願時に届け出たもの）を8桁で入力 例) 2005年4月1日 ⇒ 20050401 (yyyy/mm/dd)
個人情報取扱いについて	内容を確認し、個人情報の取り扱いに同意するを選択し、最後にログインボタンをクリック

(3) 注意事項

- ・ 入学手続の詳細は、最終合格者を対象に、志願票に記載されたメールアドレス宛に送付します。大学からの郵送物はありませんので、ご注意ください。また、合格者発表日から7日経ってもメールが届かない場合は、人間科学部入試担当（E-mail: admission19@list.waseda.jp）までお問い合わせください。
- ・ 最終合格者向けの合格証明書および学費等振込依頼書は、UCARO において所定の手続きをすることでダウンロードおよび印刷をすることができます。
- ・ 可否に関するお問い合わせには一切応じません。
- ・ 合格者発表後、入学手続を完了した場合であっても、本学の学生としてふさわしくない行為を行った場合、入学を認めないことがあります。

7. 入学手続

手続忘れには十分にご注意ください！！

例年“振込忘れ”や“入学手続書類の提出忘れ”の手続漏れが発生しています。

入学手続は、入学手続は、**(1) 入学諸費用の納入<銀行振込>**と**(2) 入学手続情報の入力<UCARO>および入学手続書類提出<郵送>**の二段階に分けて行います。入学手続を完了するためには、必ず**全ての手続を行わなければなりません。**

各入学手続は、それぞれの手続期間経過後は一切認めません。この場合、原則入学不許可となります。期間中に手続を完了できるように、予め準備を進めてください。

(1) 入学諸費用の納入<銀行振込>

まず、UCAROより所定の学費・諸会費（春学期分）の振込用紙を印刷し、ゆうちょ銀行を除く最寄りの金融機関から登録料・学費・諸会費の振込をしてください。ATM（現金自動預払機）や携帯電話、パソコン等のオンラインバンキングでは振り込まないでください。なお、第1次振込（入学金相当額）および第2次振込（入学初年度の最初の学期の学費等相当額）の両方の納入が必要となります。必ず「一括（第1次+第2次）」の振込用紙で振込をしてください。

振込期間： 2026年11月2日（月）～2026年12月11日（金）【厳守】

※振込完了後、「入学手続サイト」のご案内メールを受け取るまでの間に行う入学手続はありません。

(2) 入学手続情報の入力<UCARO>および入学手続書類提出<郵送>

入学諸費用納入完了者に対し、1月末日までに「入学手続サイト」をメールにて送付します。「入学手続サイト」にしたがって、UCARO から入学手続情報を入力し、必要な書類（住民票の写し・卒業証明書）を指定の期間内に郵送提出することにより入学手続が完了します。

入力および郵送提出期限： 2027年3月12日（金）を予定

(3) 入学手続の注意事項

- ・ メールアドレス変更等によって書類・連絡未達で手続期間内に手続ができなかった場合でも、本学では一切の責任を負いません。出願以降、入学志願票記載の住所・電話番号・メールアドレス等に変更がある場合は、速やかに下記の URL から志願者情報の変更申請を行ってください。
<https://waseda.box.com/v/1938admission-change>
- ・ 「入学手続サイト」のご案内メールが1月末日までに届いていない場合は、当学部入試担当まで至急連絡してください。
- ・ 当学部からの郵送物はありません。メールで送付するご案内を確認してください。
- ・ 「入学手続書類」の提出は郵送受付のみとします。所沢総合事務センターへの直接持ち込みは一切認めません。
- ・ 手続期間締切日を過ぎた書類はいかなる理由があっても一切受け付けません。
- ・ 複数の学部から入学を許可された場合、本人からの申し出により、先に入学手続を行った学部へ納入した入学金・学費等を、入学希望学部の費用に振り替え、入学学部を変更することができます（ただし、入学手続期間が重ならない学部間に限ります）。手続方法の詳細は、合格者に送付される「入学手続に関するご案内」をご参照ください。

8. 学費・諸会費

※2027年度学費・諸会費（予定）

（単位：円）

納入期	登録料	学費		諸会費	合計
		授業料	実験実習料	学生健康 増進互助会費	
春学期 (入学時支払)	200,000	732,500	13,500	1,500	947,500
秋学期	—	732,500	13,500	1,500	747,500
計	200,000	1,465,000	27,000	3,000	1,695,000

- ・ 2027年度学費・諸会費は上記金額から変更になることがあります。
- ・ 一度提出した書類および納入した登録料（入学金相当額）、学費・諸会費（春学期分）は、原則として返還しません。ただし、やむを得ない事情により入学を辞退する場合や、入学までに入学資格を満たさなかった場合には、学費・諸会費（春学期分）のみ返還の対象となります。手続方法等、詳細については、合格者に送付される「入学手続の案内」をご参照ください。
- ・ 秋学期以降の学費は口座振替となります。春学期の学費支払方法と異なりますのでご注意ください。振替日は「春学期は5月上旬」（2年次以降）、「秋学期は10月上旬（全学年）」となります。
※延長生のスケジュールは上記と異なります。
※口座振替実施予定日が金融機関休業日の場合、振替日は翌営業日となります。
- ・ 登録料は入学者に限り「入学金」に振り替えます。
- ・ 第4年度秋学期に校友会費40,000円が必要になります。

<奨学金について>

本学では、入学前に申請する「めざせ！都の西北奨学金」（以下、「めざせ奨学金」）や入学決定後に申請する各種奨学金（日本学生支援機構奨学金・学内奨学金・民間団体奨学金・地方公共団体奨学金）等、多くの奨学金があります。奨学金を一つでも希望する場合には、奨学課への申請・登録手続きが必要です。特に、めざせ奨学金の申請期間は第一回（10月中旬～11月中旬頃）、第二回（12月下旬～1月中旬頃）のどちらかです。また、それ以外の奨学金登録期間は合格発表後から入学前までの指定した期間になりますので、注意してください。

申請期間、申請手続等詳細は本学奨学課 Web サイト（<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/>）を必ず確認してください。

（申請資格、申請期間、申請手続き等は、年度によって変更になることがあるため、必ず最新の情報を確認してください。）

また、めざせ奨学金の申請は、複数の入試制度を出願する場合も1回で構いません。

なお、めざせ奨学金以外の奨学金登録の詳細（登録期間（例年3月上旬～下旬）・方法等）は、合格者宛に案内する「奨学金情報 Challenge」に掲載します。奨学金を希望する場合は、必ず「奨学金情報 Challenge」に従って正しく奨学金登録を行ってください。

※最新の「奨学金情報 Challenge」は、奨学課ウェブサイト

（<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/applying-loans/download/>）でご覧いただけます。

日本学生支援機構奨学金の申請には奨学金登録以外に、入学後「スカラネット（日本学生支援機構奨学金申込専用 Web サイト）の入力」や「必要書類の提出」が別途必要です。これらの詳細も「奨学金情報 Challenge」にてご確認ください。

2020年4月からスタートした国による高等教育の修学支援新制度は、住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯を対象とした、入学金・授業料減免と給付型奨学金がセットになった制度となります。2024年度以降、理工農系学部や多子世帯に属する学生に対する支援拡充策として、要件に当てはまる学生は、授業料等の減免が受けられるように制度が改正されていますが、大学に入学すれば自動的に授業料減免等がされる制度ではなく、日本学生支

援機構の給付奨学金に申し込み、採用される必要があります。日本学生支援機構の給付奨学金は、高校で予約採用に申し込まなかった場合も、入学後に申し込むことが可能です。

詳細は、文部科学省特設ウェブサイト（<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>）でご確認ください。

※本学では、入学手続き時に入学金・授業料を一旦納入いただき、入学後に必要な手続きを行っていただいた方に対して、後日免除相当額を返金いたします。

奨学金制度の他に、国のローン制度や民間金融機関との本学提携学費ローン制度があります。詳しくは、本学奨学課 Web サイトの該当ページ（<https://www.waseda.jp/inst/scholarship/applying-loans/programs/>）をご確認ください。

以 上